

● 鷗川高校課題探究型学習「むかわ学Ⅲ」の提言発表会に参加しました

日時：令和4年12月16日(金)9:00-12:00

場所：鷗川高校体育館

参加者：鷗川高校生徒、むかわ町関係者、保護者、本学学生他

内容：むかわ学の集大成として「むかわ町をより良くするため」の課題解決策を町に提言。



鷗川高校で取り組んでいる「むかわ学」の成果発表として、むかわ町の竹中町長をはじめとするむかわ町関係者の皆さんに向けて、課題解決策の提言が行われました。

発表は鷗川高校3年生が行いましたが、「穂別キャンプ場」「コスプレイベント」「クレープ商品開発」「スマート農業」の4つについては、本学学生もグループの一員として半年間、現地訪問やオンラインツールを活用したミーティングに参加し、高校生と共に探究を深め、内容のブラッシュアップに取り組みました。ファシリテーションや大学生の視点からのアイデア提案・助言など、様々な面でサポートを行ってきました。

当日参加した大学生と発表前の高校生が談笑する姿も見られ、探究学習を通じて良好な関係を築けた様子でした。

発表会の様子は収録し、「教員発案型授業B(担当教員：小山茂教授)」にて視聴しました。受講生はこれまでも授業を通してむかわ町への理解を深めてきましたが、実際にむかわの課題と向き合い、熱心に取り組んできた高校生の姿に大変刺激を受けた様子でした。今回のプレゼン視聴の感想をもとに、地域課題解決策の検討を行うワークショップへと繋がりました。

令和4年度「むかわ学Ⅲ」提言発表会

1. むかわWinterキャンプ2022! (穂別キャンプ場活用)
2. プリプリプリクラinむかわ (高校魅力化)
3. 町を巻き込め! むかわコス (コスプレイベント)
4. むかろんパンで町おこし (パン商品開発)
5. mumu Crepe (クレープ商品開発)
6. 奴らが来る... (スマート農業)
7. チーズインハンバーグ (鹿肉利用)
8. むかわカレー (農作物利用)
9. むかわB級グルメ (海産物利用)
10. むかわの人口増加に向けて (高齢者と幼児の触合い)



● 教員発案型授業Bにてワークショップを行いました

日時：令和4年12月9日(金)・23日(金) 4講時 14:40-16:10

場所：札幌大学8号館4階8402教室

内容：むかわ町の地域課題解決策の検討

秋学期開講している教員発案型授業Bにおいて、これまでむかわ町の様々な方を講師として招き、より一層地域課題に関する理解を深めてきました。12月には、HIT(北海道総合研究調査会)の協力を得て、地域課題解決策の検討を行うワークショップを2回行いました。受講生それぞれの興味関心に合わせて「博物館」「農家」「IT企業」「地域商社」「町政策全般」の5つのグループに分かれ、これまでの授業を振り返りながら、各テーマに絡めた地域課題を整理したり、自分たちにできることは何かあるのだろうかという思考を巡らせる時間となりました。

第1回のテーマは「地域課題をさがせ」、第2回は「課題解決に向けて自分ができること、してみたいこと」です。ワークショップでは、当初戸惑いもみられましたが、「ここが本当の課題なのでは?」「こんなこともできるのでは?」など徐々に活発な意見交換が行われていきました。グループの発表後に「もう少し地域の人に話を聞いてみたい」という発言もあり、心強く感じました。



この授業が地域課題に対する興味を持つきっかけとなり、受講生の皆さんが「自分のこと」として地域課題の解決を検討し続けていくことを期待しています。

(HIT五十嵐理事長・神谷さん)

